

[専門教育科目/看護の基本]

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
看護学概論	NSP11_001	必修	2	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
平尾真智子	401	m.hirao	月曜日から金曜日 12:10-13:00		
授業の目的・概要	看護学概論は各領域別看護学の基盤となる学問である。本授業では、看護目的論・看護対象論・看護方法論の基礎を理解し、看護専門職としての基礎的要素を理解することを目的とする。同時双方向型授業で学ぶ。				
学習上の助言	看護学概論では看護目的論・看護対象論・看護方法論と看護学の発展過程、看護理論や看護教育、研究の発展過程の概要を学ぶ。看護学概論は、初学者の初期段階で学習するため、学生自らが主体的に学習する姿勢と、今後の看護学学習の基本的態度を養う。学生は看護学概論を学習することにより、看護学の体系を理解するとともに、看護専門職者としての社会的・職業的日本の基盤を学習する。				
教科書	<ul style="list-style-type: none"> 看護覚え書き 本当の看護とそうでない看護/著：F.ナイチンゲール/日本看護協会出版会、2019 看護の基本となるもの/著：V.ヘンダーソン/日本看護協会出版会、2016 ヘンダーソン看護論と看護実践への応用/編著：金子道子/照林社、2019（3冊指定） この他、学内資料「看護学概論講義資料集」を使用する。				
参考書	<ul style="list-style-type: none"> 看護六法（令和2年版）/監修：看護行政研究会/新日本法規 看護白書（令和2年版）/編：日本看護協会/日本看護協会出版会 厚生指針増刊 国民衛生の動向/2020-2021/厚生労働統計協会 				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	看護の主要概念である人間・環境・健康・看護について説明できる	NS(1)、(2)			
②	看護の目的について看護理論に基づいて説明できる	NS(2)			
③	看護の対象者について看護理論に基づいて説明できる	NS(2)			
④	看護過程の要素をあげ説明できる	NS(2)、(3)			
⑤	看護技術に求められるものを説明できる	NS(2)、(3)			
⑥	看護専門職者になるための自己成長マップを描くことができる	NS(3)、(4)、(5)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	看護とは、看護の定義	同時双方向型授業	予習：3冊の教科書の目次を読む 復習：資料集の「看護とは」を復習する	4	
2	社会の変化と看護の役割機能	同時双方向型授業	予習：資料集の「社会の変化と看護」を読む 復習：資料集の該当箇所を読む	4	
3	看護の4つの機能、健康の概念	同時双方向型授業	予習：資料集の「看護の機能、健康」を読む 復習：資料集の該当箇所を読む	4	
4	保健・医療・福祉と看護の連携	同時双方向型授業	予習：資料集の「保健医療福祉」を読む 復習：資料集の該当箇所を読む	4	
5	看護理論とは、ナイチンゲールの看護論	同時双方向型授業	予習：「看護覚え書き」を読む 復習：資料集の該当箇所を読む	4	
6	ヘンダーソンの看護目的論・対象論・方法論	同時双方向型授業	予習：「看護の基本となるもの」を読む 復習：「ヘンダーソン看護論と実践への応用」を読む	4	
7	オレムの看護目的論・対象論・方法論	同時双方向型授業	予習：資料集のオレムを読む 復習：資料集のオレムを読む	4	
8	ロイの看護目的論・対象論・方法論	同時双方向型授業	予習：資料集の「ロイ」を読む 復習：配布資料「ロイ」を読む	4	
9	看護専門職とは	同時双方向型授業	予習：資料集の専門職を読む 復習：資料集の該当箇所を読む	4	
10	看護専門職の要件	同時双方向型授業	予習：資料集の専門職を読む 復習：配布資料を読む	4	
11	看護専門職と倫理	同時双方向型授業	予習：資料集の倫理を読む 復習：配布資料を読む	4	
12	看護専門職と教育	同時双方向型授業	予習：資料集の教育を読む 復習：配布資料を読む	4	
13	看護専門職と看護実践	同時双方向型授業	予習：資料集の看護実践を読む 復習：資料集の該当箇所を読む	4	
14	看護専門職と研究	同時双方向型授業	予習：資料集の研究を読む 復習：配布資料を読む	4	
15	看護専門職の発展過程とキャリア形成	同時双方向型授業	資料集の発展過程を読む これまでの授業の復習を行う	6	
試	定期試験				

[専門教育科目/看護の基本]

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	30	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	20	20	0	0	0	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	前期授業の前半終了時である8週目に定期試験を実施して、授業中に講義した内容の理解度を評価する。試験による評価割合は70%とし、レポートの30%を加え、100%とする。	最終的に試験の解答を行い知識の確認を行う。			
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
レポート	①	✓	授業の中間にレポート課題を提示する。授業の最終日を提出日とする。評価割合は30%とし、定期試験70%に加算し100%とする。	内容を点検し、評価し、コメントを記して返却する。			
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
教員の実務経験：看護師、保健師として4年の実務経験、養護教諭、衛生管理者の資格取得、看護教員として約30年の教育・研究経験をもとに看護の定義、看護職の実践の場、他職種との連携、専門職、倫理、看護の将来ビジョンなどの内容を関連する事例を交えて具体的に授業を進めます。							
Teamsを使った同時双方向型授業を15回行います。授業時は通信容量が無制限のWi-fi環境を推奨します。							
今後の新型コロナウイルス感染症の状況など、社会情勢によって再度シラバスの変更があり得ます。							